

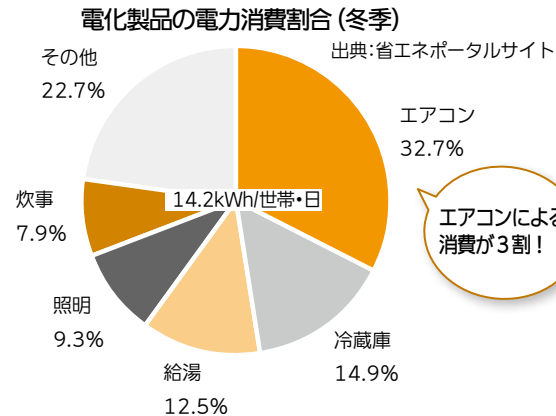
**冬**は暖房器具などの利用が増えて、1年で最も電力需要が高まる季節です。電気料金が値上がりしている今だからこそ、冬の省エネに取り組み、環境にも家計にも優しいエコな暮らしを目指しましょう。



**冬の平均月額電気料金は、夏の1.7倍！**

1世帯あたり平均月額電気料金は、2023(令和5)年1~3月の**14,646円**に対して、7~9月は**8,390円**

出典：総務省 家計調査



**暖房器具の省エネ対策のポイント**

- 空調の温度は20℃を目安に(21℃から20℃に下げると、ひと冬で25.9kg-CO<sub>2</sub>削減、およそ1,650円の節約)
- エアコンのフィルターは月に1~2回掃除をする
- サーキュレーターなどを併用し、暖まった空気を循環させる
- 厚手のカーテンを使用し、夜間は閉めて保温効果を高める
- 断熱マットなどを敷き、床に熱を逃がさないようにする(こたつや電気カーペットと併用すると暖房効率が向上します)

**需給逼迫時の節電アクション**

政府などから度々節電要請が行われる近年、電力の消費者が、需給逼迫状況に応じて節電などに協力する**ディマンド・リスポンス**が注目されています。

電力会社の各種取り組みに参加することで、電気代の節約だけでなく、需給の逼迫解消にも貢献できます。

資源エネルギー庁

省エネポータルサイトでは、家庭で取り組める省エネについて紹介しています。

HP▶ [資源エネルギー庁 省エネポータルサイト](#)



カーボンニュートラル推進事業本部 ☎457-2502

**三遠南信 ふれあいウオーク**

《南信州地域263》

**よみがえった古墳時代の鎧~短甲(たんこう)~**

100年ほど前に飯田市内の古墳から発見され、飯田市考古博物館で収蔵していた2つの短甲が、修復を終えて常設の展示に加われました。短甲は今からおよそ1600年前の古墳時代につくられた貴重な**“鎧”**です。高度な技術でつくられた短甲は、飯田が古墳時代に繁栄したことを今に伝える逸品です。

考古博物館では、旧石器時代から奈良・平安時代までの飯田の歴史を紹介しています。原始・古代から多くの人々が暮らし、交通の要所であった飯田ならではの貴重な出土品をぜひご覧ください。



▲新井原7号古墳出土  
[三角板横刳板併用鋳留短甲]



▲石行2号古墳出土  
[三角板鋳留短甲]

開館時間：9:30~17:00 (入館16:30まで)  
 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)  
 観覧料：大人 200円 高校生 150円 小中学生 100円  
 場所：長野県飯田市上郷別府2428-1  
 問合せ：文化財保護活用課(考古博物館) ☎ 0265-53-3755



「三遠南信ふれあいウオーク」は、浜松・豊橋・飯田の三市で共同制作しています。